

エンタテインメント研究の分類を考える

長谷川晶^{1,a)}

概要：2003年に始まったECワークショップも14回、研究会も45回を数え、発表内容・件数とも充実したものが多くなり、ECは他にはない研究が集まるユニークな場となっている。多様なEC研究を、既存研究分野ではなく、エンタテインメント研究としての位置づけによって分類することは、エンタテインメント工学の理解の助けになると思う。そこで、近年の論文誌やワークショップの発表を具体的に分類してみることで、エンタテインメント研究の分類を考えたい。

1. はじめに

EC研究会は「新しいエンタテインメントを創造するためのエンタテインメント技術の研究、「面白さ」の基本要素を解明したり評価法を確立するエンタテインメント性の研究、教育・エクササイズ・福祉などの様々な分野での応用を探るエンタテインメント化の研究を進めます。」として研究を進めており、2007年からは毎年メタ研究会と呼ばれる研究と研究会が進むべき方向についての議論を行うための研究会が開かれている。前回、10回目のメタ研究会でのアンカンファレンス[1]では、エンタテインメントとは「心(感情)を揺さぶるもの」という定義とそれに基づく評価法の議論が行われた。また、EC分野のこの視点からの分類が議論され、1のような分類の視点も提案された。そこで、第11回目の議論の前に、幾つかの過去の研究をこの視点に基づいて分類することを試み、教科書の章立てやシンポジウムのセッション分けなど具体的な目的のために有効な分類法を考えるための材料を提供することを目指す。

2. エンタテインメント研究の分類法の提案

2.1 従来の分類

エンタテインメントコンピューティングシンポジウムでは、口頭発表のセッション分けが必要であり、4~8件程度のセッションを構成するために、発表研究の分類が行われてきた。これらは歴代のプログラム委員長の努力の賜物であるが、「ロボット」「ウェアラブル」「バーチャルリアリティ」「アート」など既存分野名がそのまま用いられることも多い。

2.2 「感情を揺さぶるもの」についての研究の分類法の提案

エンタテインメント＝「感情を揺さぶるもの」と考えると、心のモデルを描きたくなる。1は、感情とエピソード記憶の関係[2]などを考慮しつつ、身体による体験からエピソード記憶を作り語るまでの心の働きを図示し、その上に、エンタテインメント研究を分類しようとしたものである。この図では、身体部分に「1.感情を揺さぶるための手法・演出法(感覚表現)」、無意識部分に「2.感情の遷移とその効果(動かし方)」、無意識から意識、エピソード記憶を作る部分に「3.感情の遷移の記憶・叙述のされ方(物語)」、それを語りコミュニケーションする部分に「4.他者の影響(コミュニケーション)」という分類を当てはめた。

2.3 提案分類法の試用

前節で提案した分類の視点に基づき、EC2015の「エンタメ応用」「エンタメ基礎」「音楽」「ウェアラブル、ユーザ評価/推定」と論文誌特集号等のエンタテインメント研究計45件を複数に属することを許して分類したところ、1.感覚表現が26件、2.動かし方が8件、3.物語が4件、4.コミュニケーションが3件となった。1.感覚表現についての研究の割合が多いことから、これをより詳細に分類する視点が望まれる。感情を揺さぶるエンタテインメントの視点から、表現・演出手法を分類する方法を考えて行きたい。

3. おわりに

本稿では、前回のメタ研究会で提案されたエンタテインメント研究の分類の視点によって、これまでにシンポジウムなどで発表されたエンタテインメント研究を分類するこ

¹ 東京工業大学
Tokyo Institute of Technology, Yokohama, Kanagawa 226-8503, Japan

^{a)} hase@pi.titech.ac.jp

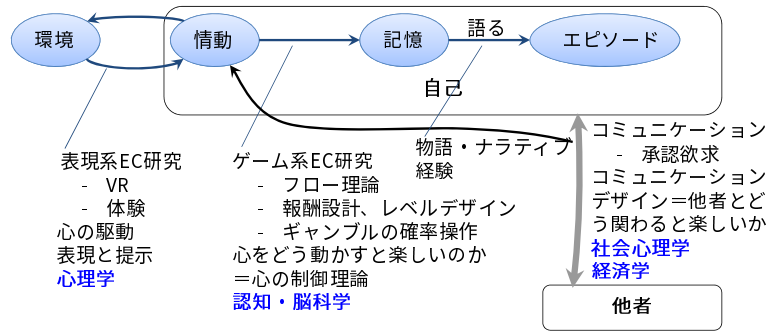


図 1 前回メタ研究会で提案された分類の視点

とを試みた。その結果、感覚表現についての研究の割合が非常に多くこのカテゴリを更に細かく分類するための視点の必要性が示された。

参考文献

[1] 晶一長谷川, 裕太杉浦, 昌彦稲見, 晴弘片寄, 紗季阪口, 智也佐々木, 麻樹杉本, 光代橋田, 准一星野, 裕玄三武, 充 水口, 洋平築瀬: EC42-第10回のメタ研の報告, 技術報告 21, 東京工業大学, 慶應義塾大学, 東京大学, 関西学院大学, 関西大学, 慶應義塾大学, 慶應義塾大学, 相愛大学, 筑波大学, 東京工業大学, 京都産業大学, ユニティー・テクノロジー・ジャパン合同会社 (2017).

[2] Allen, P. A., Kaut, K. P. and Lord, R. R.: .8 Emotion and episodic memory, *Handbook of behavioral neuroscience*, Vol. 18, pp. 115-132 (2008).